

粘り強くやい抜く力

現在、NHK 朝ドラで漫画架やなせ たかしさん夫妻を取り上げたドラマ「あんぱん」が放送されています。今や「アンパンマン」や「やなせ たかしさん」という名前を知らない人はいないと言ってよいほど有名です。やなせさんは、大正から昭和にかけて、世界恐慌・関東大震災・軍国化していく大混乱期に生まれ育っていきます。自身も様々な職業を経験しながらも、自分の思いを大切にしながらあきらめずに夢を追いつけます。「アンパンマン」が脚光を浴びるようになったのはやなせさんが70歳近くなった時だそうです。やなせさんは「運にめぐり逢いたかったらいろいろなことを経験する方がいい。いろいろなことを経験し、視野を広くもった方がいい。」と語っているそうです。

さて、近年、“非認知能力”という言葉が非常に多く使われるようになってきています。幼児教育、特に4～5歳の頃の遊びの中でこの能力は育ち、思春期にかけて伸びていき、将来、大人になった時、先の見えない・答えのない課題を乗り越えていくための生きる力となって開花していくと言われています。非認知能力は細かく分けて説明をされているところもありますが、文部科学省は小学校教育につながる幼児期の学びの特性として、非認知能力を主に3つの観点からまとめています。

- ① 自分の目標を目指して粘り強く取り組む
- ② そのためにやり方を調整し、工夫する
- ③ 友だちと同じ目標に向けて協力し合う 中央教育審議会 初等中等教育分科会

特に私は①のあきらめずに粘り強く取り組む力に注目しています。これはいつの時代、いかなる職業であっても求められるからです。今後、ますます混んとする社会を生き抜く子どもたちにとってはなおさらでしょう。小学生の子どもたちにとって、うまくいかないことも“あきらめずに、考えたり、行動すしたりする”ことで「乗り越えることができた!」という経験ができるよう、普段の授業の中で、“自ら課題を見つけ、自分で調べたり、友だちと考えを交流し合ったりしながら、さらに自分の考えを深めていく”授業づくりをしていきたいと思ひます。



- 8日(木) 家庭訪問①
- 9日(金) 家庭訪問②
- 13日(火) 家庭訪問③ 尿検査1次 図書ボランティア
- 15日(木) 内科検診1～3年
- 16日(金) 内科検診6年
- 21日(水) 4年生環境学習(パッカー車)
- 26日(月) プール清掃

家庭訪問にお邪魔させていただきます。時間が限られていて申し訳ございません。お忙しいところ調整していただき有難うございます。

今年度も大変お世話になります。子どもたちが少しでも読書に親しめるように…と工夫をして環境整備をしていただいています。